



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月31日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
コード番号 2883 URL <https://www.dai-rei.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 富田 史好
問合せ先責任者（役職名） 専務取締役管理統括本部長（氏名） 黒川 岳夫（TEL）03(3536)1551
半期報告書提出予定日 2024年11月8日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	12,999	△6.9	420	△25.1	397	△32.8	252	△36.7
2024年3月期中間期	13,964	6.5	560	△26.1	590	△26.1	398	△26.1
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期中間期	42.68		—					
2024年3月期中間期	67.45		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	13,060	9,621	73.7
2024年3月期	14,040	9,725	69.3

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 9,621百万円 2024年3月期 9,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	9.4	1,250	17.2	1,250	13.1	845	10.2	142.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	6,008,300株	2024年3月期	6,008,300株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	98,627株	2024年3月期	98,627株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	5,909,673株	2024年3月期中間期	5,909,673株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復が続くことが期待される一方で、エネルギー価格、原材料費の高騰及び為替変動による景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内食品業界におきましては、原材料価格の高騰や人件費、物流費の上昇に伴う商品価格の値上げが継続的に行われており、消費者の節約志向は依然として強く、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況のもと当社は、インバウンド需要などで売上増加が見込まれる取引先への積極的な営業活動を行うなど、様々な営業展開を引き続き図ってまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、「ダイスカットシリーズ」など当社独自商品の拡販に努めましたが、ユーザーの低価格志向に伴う販売数量減少などにより売上高4,612,800千円(前年同期比15.0%減)、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の販売強化などにより売上高1,259,032千円(前年同期比1.9%増)、その他事業におきましては、えび商品販売軟調継続などにより売上高7,127,410千円(前年同期比2.4%減)となりました。これにより当中間会計期間の売上高は12,999,243千円(前年同期比6.9%減)となりました。

損益面につきましても、仕入コスト削減により粗利率は期初の予想通りに推移したものの、売上高の減収に伴い粗利益が減少したことにより、営業利益は420,098千円(前年同期比25.1%減)、経常利益は397,112千円(前年同期比32.8%減)、中間純利益は252,244千円(前年同期比36.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当中間会計期間末における総資産は、13,060,553千円となり、前事業年度末と比較して979,758千円減少となりました。これは主に商品が144,736千円増加した一方で、現金及び預金が829,372千円、受取手形及び売掛金が256,378千円それぞれ減少したことによるものです。

(負債の部)

当中間会計期間末における負債合計は、3,438,570千円となり、前事業年度末と比較して876,731千円減少となりました。これは主に未払法人税等が73,492千円増加した一方で、買掛金が911,906千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当中間会計期間末における純資産合計は、9,621,983千円となり、前事業年度末と比較して103,026千円減少となりました。これは主に中間純利益の252,244千円計上と配当金の支払354,580千円により利益剰余金が102,336千円減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて829,372千円減少して3,044,555千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、426,559千円の支出(前年同期は614,655千円の収入)で、主な収入要因は税引前中間純利益397,112千円、売上債権の減少額256,378千円であります。一方、主な支出要因は仕入債務の減少額911,906千円、棚卸資産の増加額147,577千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、8,523千円の支出(前年同期は94,485千円の支出)で、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出10,511千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、360,302千円の支出(前年同期は149,593千円の収入)で、主な支出要因は配当金の支払額354,580千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の将来予想につきましては、2024年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,873,928	3,044,555
受取手形及び売掛金	4,831,690	4,575,312
商品	2,819,466	2,964,202
前渡金	1,219,291	1,173,426
その他	57,495	83,070
流動資産合計	12,801,871	11,840,567
固定資産		
有形固定資産	650,907	647,715
無形固定資産	45,307	40,047
投資その他の資産		
その他	549,318	539,316
貸倒引当金	△7,093	△7,093
投資その他の資産合計	542,224	532,223
固定資産合計	1,238,440	1,219,986
資産合計	14,040,312	13,060,553
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,942,996	2,031,089
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	84,498	157,990
賞与引当金	32,801	30,607
役員賞与引当金	—	13,058
その他	553,487	502,904
流動負債合計	3,913,782	3,035,650
固定負債		
退職給付引当金	280,043	288,386
その他	121,475	114,533
固定負債合計	401,519	402,919
負債合計	4,315,301	3,438,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	7,321,402	7,219,066
自己株式	△200,091	△200,091
株主資本合計	9,718,087	9,615,751
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,922	6,232
評価・換算差額等合計	6,922	6,232
純資産合計	9,725,010	9,621,983
負債純資産合計	14,040,312	13,060,553

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	13,964,349	12,999,243
売上原価	11,735,500	10,932,987
売上総利益	2,228,849	2,066,255
販売費及び一般管理費	※1 1,668,153	※1 1,646,157
営業利益	560,695	420,098
営業外収益		
受取賃貸料	4,488	4,488
為替差益	20,894	—
その他	7,897	10,462
営業外収益合計	33,279	14,950
営業外費用		
賃貸収入原価	1,472	1,476
為替差損	—	33,987
その他	1,781	2,472
営業外費用合計	3,254	37,936
経常利益	590,720	397,112
税引前中間純利益	590,720	397,112
法人税等	192,094	144,868
中間純利益	398,626	252,244

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	590,720	397,112
減価償却費	19,206	18,964
受取利息及び受取配当金	△1,504	△1,196
支払利息	1,637	2,265
賞与引当金の増減額(△は減少)	△17,052	△2,193
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,944	13,058
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,559	8,342
売上債権の増減額(△は増加)	△787,892	256,378
棚卸資産の増減額(△は増加)	△526,794	△147,577
前渡金の増減額(△は増加)	△221,293	45,864
仕入債務の増減額(△は減少)	1,977,721	△911,906
その他	△60,700	△29,207
小計	975,663	△350,094
利息及び配当金の受取額	377	408
利息の支払額	△1,760	△2,295
法人税等の支払額	△359,625	△74,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	614,655	△426,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△10,511
投資有価証券の取得による支出	△20,724	△237
貸付けによる支出	△74,144	—
その他	383	2,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,485	△8,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	510,000	—
リース債務の返済による支出	△5,826	△5,722
配当金の支払額	△354,580	△354,580
財務活動によるキャッシュ・フロー	149,593	△360,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,894	△33,987
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	690,657	△829,372
現金及び現金同等物の期首残高	2,657,108	3,873,928
現金及び現金同等物の中間期末残高	※1 3,347,766	※1 3,044,555

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月16日 定時株主総会	普通株式	354,580	60.00	2023年3月31日	2023年6月19日	利益剰余金

- 2 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月18日 定時株主総会	普通株式	354,580	60.00	2024年3月31日	2024年6月19日	利益剰余金

- 2 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。